幸せを育てる本

十界の話

指導・監修　鈴木修学先生
画　中村ひろし画伯

〈三徳〉

慈悲　思いやる心がありますか

至誠　持ち続けることができますか

堪忍　堪えることができますか
流すことができますか

日蓮

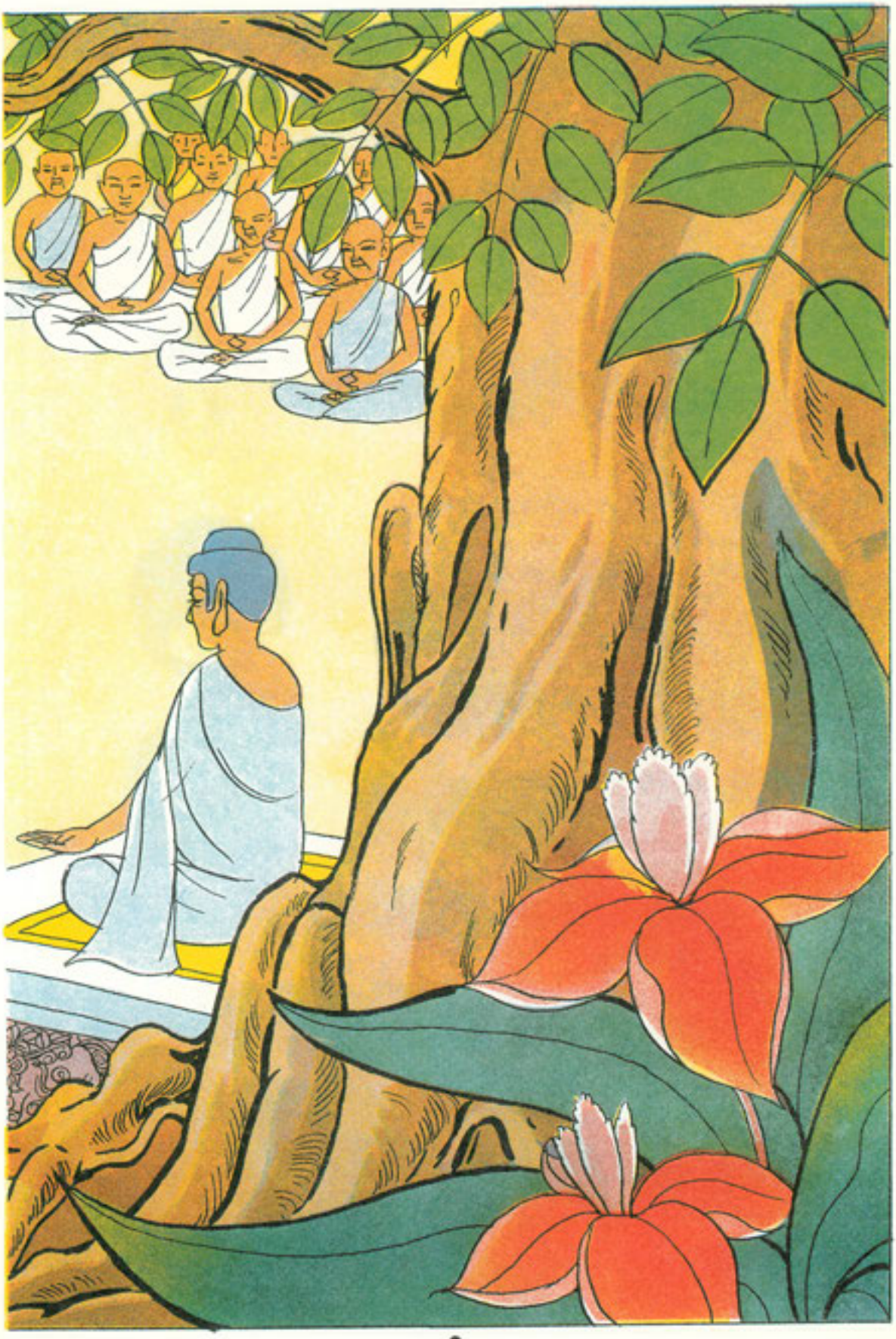
怒らぬよう
恵みを深く
見る度に
鏡とせよう
十界の絵図

日蓮

幸せを育てる本

十界の話

（教育まん画）



十界とは、地獄・餓鬼・畜生・
修羅・人間・天上の六道と、
声聞・縁覚・菩薩・仏の
四聖道をいう。
人はみな、この十界の中に住み、
生きるものである。
たまたま教えを聞き、
四聖道のよき行ないをしようとしても、
その知ること浅きがゆえにまた凡夫にもどり、
六道をはなれることができず、
未来永劫苦しみ悩むであろう。
真に仏の教えを聞き、学び、
行ずることこそ、この世に幸福と
平和をもたらすものである。

仏の教えを知らぬ人々は
みな六道を輪廻して
心の安まる時はないのである。
ある時はいかり（地獄）
むさぼり（餓鬼）
思慮分別を欠くための迷い（畜生）
また、あらそい（修羅）
これらをくいとめる心（人間）があるも
一瞬の歓喜（天上）は永く
続くことはない。
これを、六道を輪廻する
哀れなる衆生という。

六道の話

われわれの心は

地獄（瞋恚）いかり

餓鬼（貪欲）貪る心

畜生（愚痴）本能のままにうごく

修羅（争い）利己心同士の角つき合い

人間（平生）以上の迷いが起こるがある程度でとめる

天上（歓喜）一時の喜び

この六道をぐるぐる廻って
苦しみや悩みから離れられない

この物語は、私たちの生活上によくありがちなそしてよく見受ける事柄であります。自分では気がつかぬままに六道を輪廻して己を苦しめ、人を苦しめているのです。この物語を見て、ここが地獄だ、ここが畜生だ、とご判読下さい。

登場人物

母

長男……良夫　その妻　みどり

次男……正夫　その妻　光子

三男……明夫

叔父

叔母

鎌田さん……会社の専務さん

金本先生……法華経の行者・僧

みにくい
いさかい

①
こんにちは
でんきの
集金に
あがりました

②
こんにちは
るすかな
あかんぼうの
なきごえが
しているが…

③
こんにちは
おるす
ですか…

④
うるさい
わねえ…
るすです
よ!

⑤
はあ
おるす
ですか
……
えっ?

⑥
おくさん
からかわ
ないで
下さいよ
からかって
なんか
いないわ
よ!
るすだ
から
るすと
いったのよ

だって おくさんが おられるじゃ ありま せんか
主人がいないのよ 家をあけて かえってこないん ですよう

きょうで 三日も かえって こないん だから…

どうして くれるん ですよう
そそ… そんな こと… 私に いったっ て……

ま…また 三日して まいり ますから
なんで すって! 三日 だって!!

ものすごい ヒステリー だよ

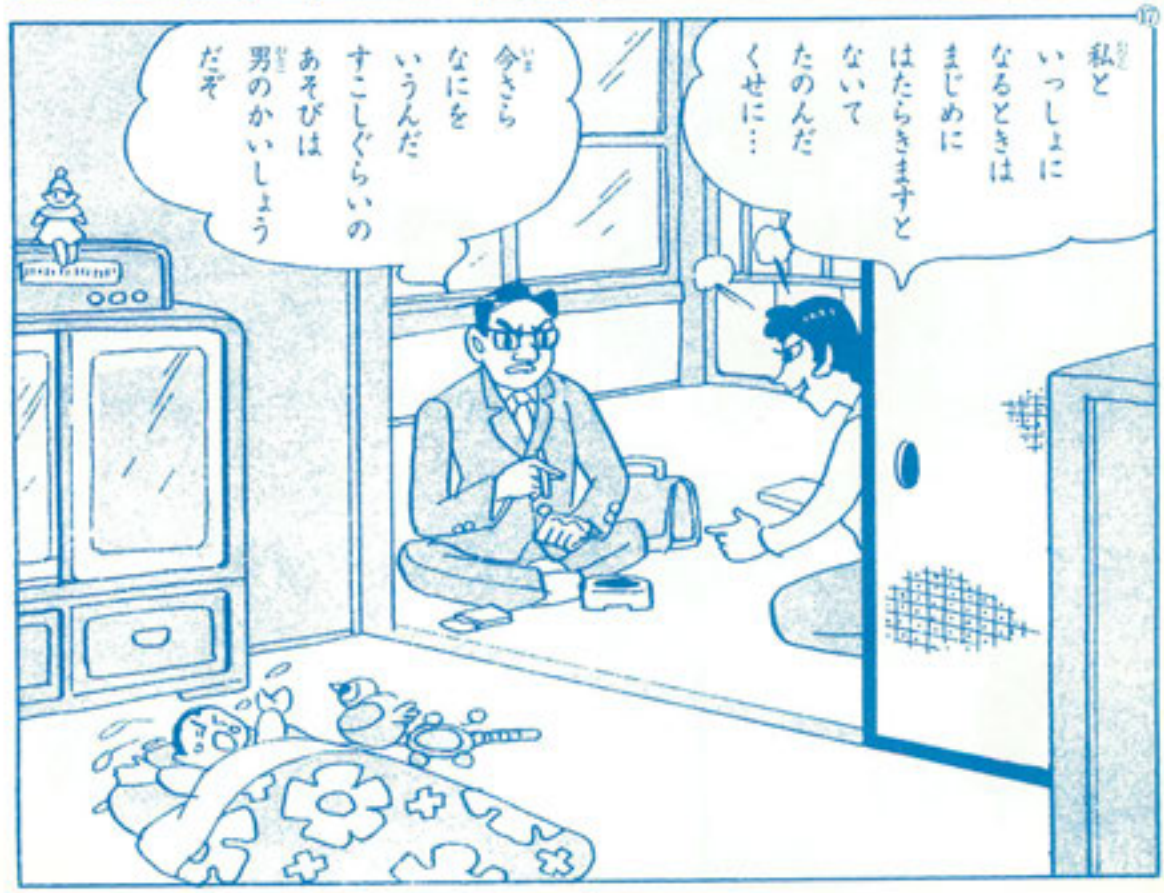
三日だ なんて でんきやまで 人をばかに して……

ガヤ ガヤ
うる さいわ ねえ

おい あかんぼうが ないている じゃないか みてやれ
まあなんですって よく家を まちがえずに かえってきましたねえ

いったい どこに あそびに いってたんで す？ ……
かえる そうそう うるさい やつだ

なにが うるさいのさ こんどという こんどは わかれて もらいますよ

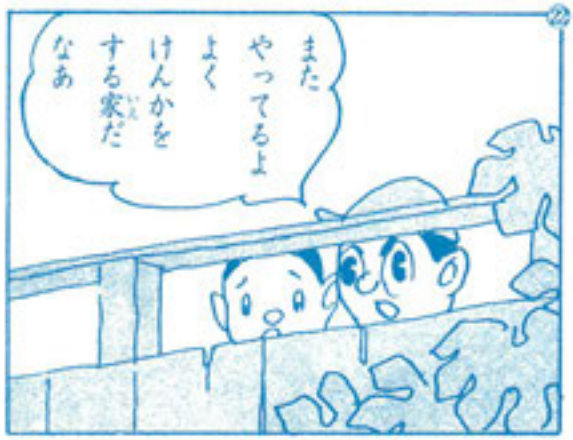

私と いっしょに なるときは まじめに はたらきますと ないて たのんだ くせに…
今さら なにを いうんだ すこしぐらいの あそびは 男のかいしょう だぞ

なにが かいしょう ですよう お金も おいていかない くせに
お金なら やって あるじゃあ ないか

あれっ ばかりの お金が いつまでも あるもん ですか

坊やだって ごはんも たべずに 学校へいった んですよ

なぜ たべさせて いかせない のだ!!
まあ たたくつもりなの… ろくなおかずも 買えないから ですよう…


また やってるよ よく けんかを する家だ なあ

あかちゃんが 熱があったって 医者にも いけないん ですよう

ばか!! それで母親の役がつとまるか!!

えーえー ばかだから あなたに かってな ことを されるんですよう
なに!!

パチ

やったわね…

いよいよはじまったぞ すごいねえ… だんなが ひっかかれたよ
おくさんは はいざらを もって あっ! だい一球だ

はずれた ボール! こんどは だんなが ゆのみを つかんで 大きな モーション

わあ… ストライクだ…

おい！君たちなにをみているんだ!!
あっいけない弟さんだ…

兄貴またやっているんだな

くやしい!!

わーやめてくれ！
なんだ明夫じゃないか……
まあ明夫さん……あなたがそこにいたからよ！

よく けんかを する 夫婦だ なあ…

明夫さん きいてよ 兄さんは また 朝がえり なのよ

おい 弟のまえで ばかな ことを いうな
そうじゃ ないの… 自分につごうが わるいもん だから…

まあまあ けんかのつづきは またあとに してもらいたいな 兄さん いかないのかい

どこへ だ
いやに なるなあ 親の 三七日を わすれる なんて…

そうだ うっかりして いたよ これば かりは いかなく ちゃあ

おい いって くるぞ …… こどもを 医者に みせろよ いいな